



✿ 三ツ又沼ビオトープのあれこれ



4月には…

4月から5月にかけ、木道からノウルシ（トウダイグサ科）を見る事ができます。あわい黄色の花がかたまって一面に咲く様子は、とてもきれいです。ぜひ、春を感じに、足を運んでみてください。



1月

冬の三ツ又沼ビオトープにて、ジョウビタキを見つけました。木の実や虫を食べて冬を過ごし、春になると子育てをするため、中国北部やロシアなどに帰ります。旅立ちの日はもうすぐでしょうか。



✿ 荒川ハンノキプロジェクト



(出丸小学校)

環境サポーターの廿浦さんが、「自然はなぜ大切なのか?」をテーマに、私たちが自然からどのような「めぐみ」を受けているのかについてお話ししました。その後、子どもたちに、夏にすずしさをもたらしてくれる「よしず」作りを体験してもらいました。



(太平中学校)

環境サポーターの内田さんが、昔の自然の中でどんなことをして遊んだのかを、当時の自然への思いもこめてお話ししました。また、同じくサポーターの菅間さんが、国土交通省と流域の住民が一緒になって進めている、昔の自然を取りもどすプロジェクトについてお話ししました。



三ツ又沼 ビオトープとは?

上尾市と川越市、川島町のさかい目にある、荒川の豊かな自然が守られている場所です。ここでは、荒川の自然が大好きな人たちと国土交通省が一緒に、自然をより良くする作業や「荒川の自然って大切だよね!」と、人々に伝える活動をしています。いつも、だれでも自然に親しむことができます。

荒川ハンノキプロジェクトは、埼玉県の蝶「ミドリシジミ」のために、三ツ又沼ビオトープにハンノキの林を取りもどすプロジェクト。現在、川島町立出丸小学校、上尾市立太平中学校、川島こどもエコクラブの子どもたちが、種子から苗を育てて荒川に植えもどす取り組みを行っています。



*環境サポーター:あらかわ市民環境サポーターの略。荒川の自然が大好きで、特に三ツ又沼ビオトープの自然をより良くするために作業をしたり、自然学習のお手伝いをする市民のみなさんです。登録は荒川上流河川事務所にて受け付けています。